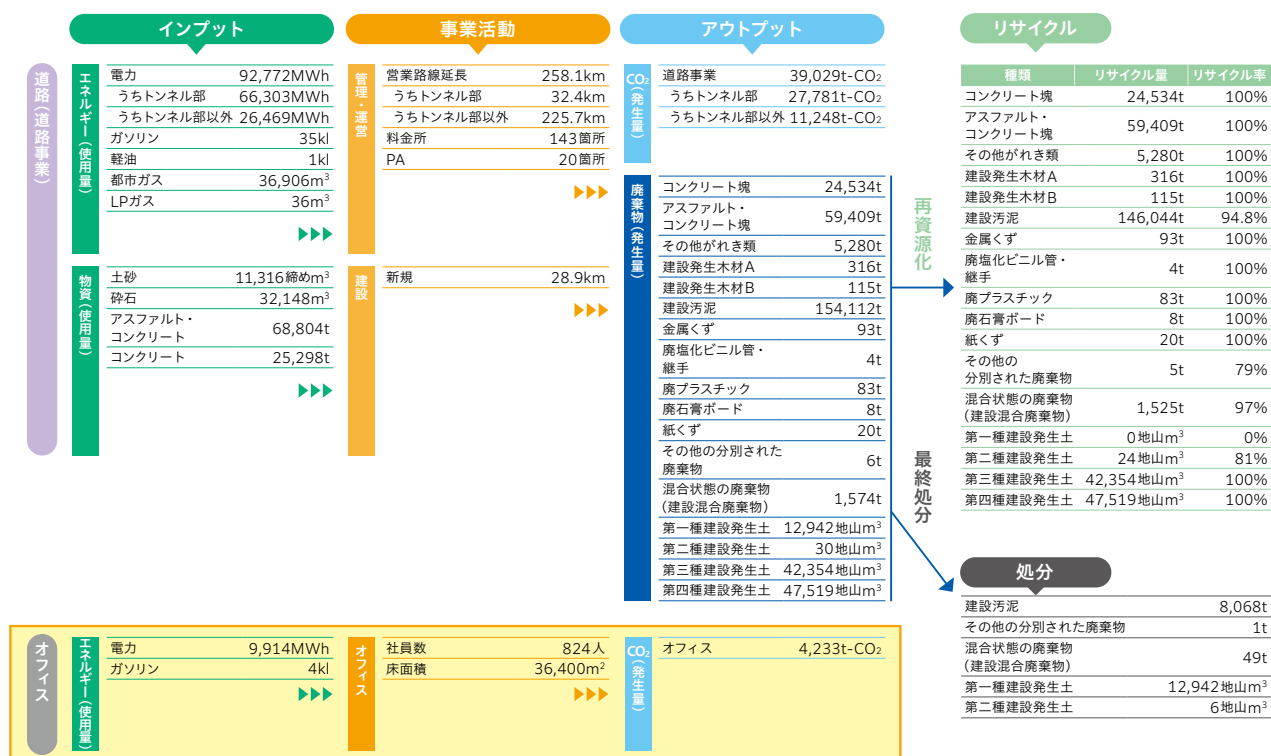


循環型社会の形成

限りある資源を有効に活用し、環境負荷を低減させるため、より付加価値の高い再生材の利用方法に着目し、建設副産物をはじめとする廃棄物の3R（Reduce（発生抑制）・Reuse（再使用）・Recycle（再生利用））に取り組んでいます。また、グリーン購入法に沿った調達方針を定め、環境負荷の少ない資材の調達を推進し、調達可能な事務用品については、グリーン調達率100%を目指しています。

〈マテリアルフロー図 阪神高速道路(株)単体 2024年度〉

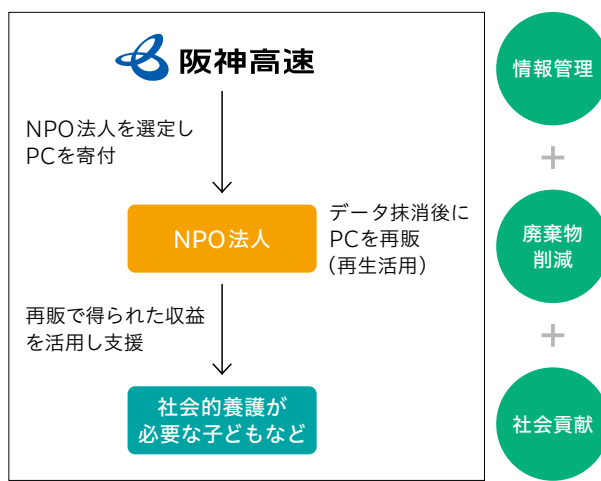


※ 当社事業で使用するエネルギー物資の入手から、リサイクル・処分までの流れを示しています。

PC処分方法の見直し ～情報管理×廃棄物削減×社会貢献へのチャレンジ～

PC（パソコン）やスマートフォンの普及に伴い廃棄される電子機器は、世界で年間約23万トン（甲子園球場に換算すると約6個分）ずつ増え続けています。阪神高速道路(株)でも買い替えにより不要となったPCは、これまですべて廃棄していましたが、今回約700台のPCを処分するにあたっては、NPO法人と協働し、右図のような取り組みを行いました。

これまでどおり情報漏洩対策に万全を期しながら、廃棄対象のPCを再販により再生活用することで廃棄物削減に貢献し、かつ再販から得られた収益を社会貢献活動に役立てていくという「三方よし」の取り組みです。阪神高速グループは、これからも地球環境共生・貢献企業を目指して新しいチャレンジを続けていきます。



取り組みの流れ